

Logitech

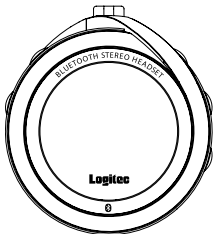
LBT-HS210C2シリーズ

Bluetooth対応

ペンダントタイプ ワイヤレスステレオヘッドセット

iALIVE

LBT-HS210C2シリーズ ユーザーズマニュアル



機器名	LBT-HS210C2
バスキー	0000

 **Bluetooth®**

ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本書では、本製品の使用方法や仕様についてご説明いたします。ご使用前に必ずお読みいただき、読み終わった後もいつでも参照できるよう大切に保管しておいてください。

ご注意

- ① 本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
- ② 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- ③ 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、② 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ④ 本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- ⑤ 本製品の仕様、デザインおよび本書の内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

- ⑥ 本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。
- ⑦ 弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑧ 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑨ 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

商標に関する注意

Bluetooth® はBluetooth SIGの商標です。

本製品はSonaptic SoundStage™ audio technologyを搭載しています。

Sound Engine™ and SoundStage™は英国Wolfson Microelectronics社の商標です。

その他本書に記載されている機器の名称などは各社の商標または登録商標です。

目次

目次	4
安全上の注意	7
1 お使いになる前に	16
1-1 主な機能	17
1-2 対応プロファイル	17
1-3 同梱品の確認	18
1-4 各部の名称とはたらき	19
1-5 操作ボタン機能の概要	21
1-6 本体とイヤフォンの着脱方法	22
1-7 装着方法	23
1-8 充電方法	24
1-9 バッテリーの状態の確認方法	25
2 電源を入れる/切る	26
2-1 電源を入れる	26
2-2 電源を切る	26
3 機器とペアリングする	27
3-1 はじめて本製品を使用する場合	28
3-2 別な機器とペアリングをおこなう	30
3-3 以前にペアリングした機器の情報を消去する	31

4	機器と接続する	32
4-1	機器と接続する	32
4-2	機器に接続するときの注意事項	33
4-3	機器から切断する	33
4-4	携帯電話と携帯型音楽プレーヤーを同時に接続する	34
5	音楽を聴く	35
5-1	各種ボタンの操作	35
5-2	サウンドエフェクトの切り替え	36
6	携帯電話との使用	37
6-1	音楽を聴いている最中に電話に応答する	38
6-2	電話に応答する	39
6-3	応答を拒否する	40
6-4	あとからかかってきた電話に出る（キャッチフォン）	40
6-5	電話をかける（ダイヤルする）	41
6-6	電話をかける（リダイヤルする）	42
6-7	音量を調整する	42
7	携帯型音楽プレーヤーとの使用	43
8	パソコンおよびPDAとの使用	44
8-1	パソコンやPDAと接続するときの注意事項	45
9	困ったときは	46

10	製品仕様	47
	10-1 製品仕様	47
	10-2 別売品のご案内	48
11	お問い合わせについて	49

安全上の注意



警告

万一、異常が発生したときは..



本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切ってください。また、充電中の場合は、USB充電ケーブルをUSBポートから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

弊社指定の物以外を使用してステレオヘッドセットの充電を行わないでください。



ステレオヘッドセットのコントローラーは内部電源にリチウムポリマー電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると、発火の危険性があります。充電は本書で指定する方法で行ってください。注意事項をお守りにならない場合、バッテリーの寿命が著しく短くなる場合があります。

高温のまま放置しないでください。



本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用、保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

ステレオヘッドセットの充電が終わったら、必ず充電用ケーブルを取り外してください。



また、必要な充電時間を終えても充電が完了しない場合も、いったん充電を終えてUSB充電ケーブルを取り外してください。

所定の充電時間を超えて充電を行った場合、内部電池が発熱、発火、破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

音量の設定には十分気をつけてください。



ステレオヘッドセットの音量は最小から徐々に音を上げ、適切な音量に調整してください。

分解しないでください。



本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造、分解をしないでください。感電、火災、やけどの原因となります。

※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

水気の多い場所での使用、保管は行わないでください。



本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。また、充電時に濡れた手でUSB充電ケーブルを触ると、感電の原因となりますのでおやめください



小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。
誤飲など、思わぬ事故を招く場合があります。



病院内や航空機の中などでは使用しないでください。
高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機器や航空機の計器類などの誤動作の原因となります。また、まれに自動ドアや火災報知器などの自動制御装置に電波が干渉し、誤動作を招く場合があります。



充電用ケーブルの接続端子や本製品の電源コネクタ等の金属部分に触れないでください。
静電気や汚れなどにより、故障、感電の原因となります。



自動車運転時には使用しないでください。
自動車の運転中にステレオヘッドセットを使用しないでください。
また、歩行中等でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

注意

大きな音で長時間音を聞き続けないようにしてください。



ステレオヘッドセットで長時間にわたり大きな音を聞き続けると、聴覚に悪影響を起こす可能性があります。適切に音量を調整し、長い時間聞きすぎないようにご注意ください。

また、大音量で音楽を再生すると音が漏れ、周囲の人の迷惑となる場合があります。十分ご注意ください。



ヘッドセットの充電時は、充電ケーブルはなるべくUSBポートに直接接続してください。

複数のUSBハブなどを解しての充電は充電時間に影響を与えるだけでなく、火災や故障の原因ともなります。



ヘッドセットの充電時は、充電用ケーブルを必ず延ばした状態で使用してください。

束ねた状態で使用すると、過熱の原因になります。



充電には付属のUSB充電ケーブルを使用してください。

付属のUSB充電ケーブル以外での充電は絶対におやめください。火災、故障の原因となります。

また、USB充電ケーブルはパソコンなどのUSBポートへ直接接続してください。ハブ経由での充電は、バスパワー不足により十分な電力を得られないことがあります。



衝撃や振動のある場所では使用しないでください。

本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用、保管は避けてください。



周囲の機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。

本製品は2.4GHz帯のISMバンドをワイヤレス転送に使用しています。この周波数帯では無線免許を必要としない機器が一定の条件下でさまざまな形で使用されています。

そのため、使用する場所より、周囲の機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。



装着時に違和感がある場合は使用を中止してください。

かゆみやヒリヒリ感が出るなど、お肌に合わないと感じられた場合は使用を中止し、必要に応じて医師などにご相談ください。



心臓ペースメーカーなどをお使いの場合は使用しないでください。

本製品を心臓ペースメーカーと併用できるかどうかについては、ペースメーカーの製造元やかかりつけの医師に相談の上、安全が確認された場合のみ使用してください。



充電中はステレオヘッドセットの周りに物を置かないでください。
発熱、発火、火災、やけどの原因となります。



ご使用にならないときは電源をOFFにしてください。
本製品は待ち受け中も電力を消費します。長期間電源がONのまま放置しておくと、実際の通話時に電池切れを起こす場合があります。



ご使用の際は接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。
本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。



定期的に充電を行ってください。
ステレオヘッドセットは長期間使用しない場合でも、1か月に1度を目安に充電を行ってください。



ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
ラジオやテレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証できません。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。



本製品を廃棄する場合

ステレオヘッドセットのコントローラーは内部電池にリチウムイオン電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。本製品を廃棄する場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

お問い合わせ先については、本書巻末をご参照ください。



ていねいに取り扱いしてください。

本製品は、傷を付けにくいように表面処理を施しておりますが、お取り扱い方法や使用される環境によっては擦り傷がつく可能性があります。お取り扱いには十分ご注意ください。

電波に関する注意事項

本製品は2.4GHz帯の無線電波を使用しています。

本製品が通信時に使用する2.4GHz帯の電波は以下の機器や無線局が使用しています。

- ・ 産業、科学、医療用機器
- ・ 電子レンジなどの加熱装置
- ・ 工場の製造ライン等で使用される
移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）
特定省電力無線局（免許を要しないもの）

そのため、以下の注意事項をお守りの上で使用ください。

- ・ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くや、医療用の機器の近くでは絶対に使用しないでください。電波干渉を及ぼし生命に危険を与える可能性があります。
- ・ 電子レンジなどの加熱機器のそばでは使用しないでください。電波干渉が発生します。
- ・ 本製品をご使用前に本製品の周辺で移動体識別用の構内無線局または特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。本製品とそれらの無線局に電波干渉が生じた場合は、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ・ 電波干渉が起ると、通信ができなくなったり、正常に相手の声が聞こえない、自分の声が伝わらないなどの現象が起こる場合があります。そのような場合は直ちに本製品の使用をおやめください。

その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、問題が発生した場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。（弊社テクニカルサポートの連絡先については、本書巻末をご参照ください）

使用周波数帯域	: 2.4GHz
変調方式	: 周波数拡散方式 FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
想定干渉距離	: 約10m (障害物のない場合)
周波数変更の可否	: 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定省電力無線局」帯域を回避可能

1

お使いになる前に

本製品は、Bluetoothワイヤレス機能を使用したハンズフリー通話対応のワイヤレスステレオヘッドセットです。

ご使用の携帯電話がBluetoothのハンズフリー通話に対応している場合、本製品を使用して、携帯電話の待ち受けやハンズフリーでの通話ができます。

本体のLCDには、接続状況や選択されているプロフィールが表示されますので、一目で現在の状況が確認できます。携帯電話がかかってきた相手のID（電話番号）も表示されますので、相手を確認してから応答できます。

また、Bluetoothのオーディオプロフィール（A2DP）に対応したオーディオトランスミッターを装着した携帯型音楽プレーヤーなどと組み合わせて音楽をワイヤレスに楽しめます。

さらに、パソコンやPDA本体にBluetooth通信機能が内蔵されている場合、またはBluetoothアダプタを接続して通信が可能な場合、本製品を使用してインターネットのボイスチャットやスカイプ通信、アプリケーションを使用しての音楽再生が可能です。

1-1 主な機能

本製品の主な機能は次の4つです。

- ・ワイヤレスステレオヘッドセット機能
- ・ワイヤレスリモートコントローラ機能
- ・ワイヤレスハンズフリー通話
- ・着信ID（電話番号）表示機能

1-2 対応プロファイル

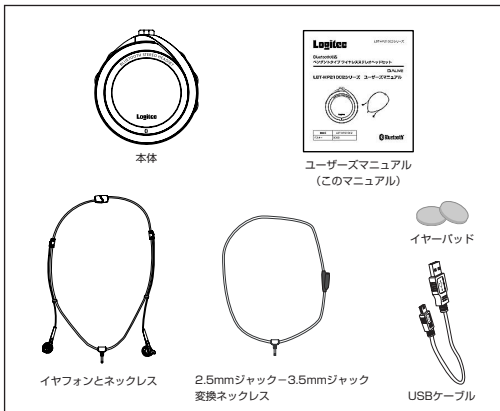
本製品が対応しているBluetoothプロファイルは次の4つです。

各プロファイルに対応した携帯電話、オーディオトランスミッター機能付き携帯型音楽プレーヤーやパソコン、PDAと組み合わせて使用することができます。

- ・A2DP (Advance Audio Distribution Profile)
- ・AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
- ・HFP (Hands-Free Profile)
- ・HSP (Headset Profile)

1-3 同梱品の確認

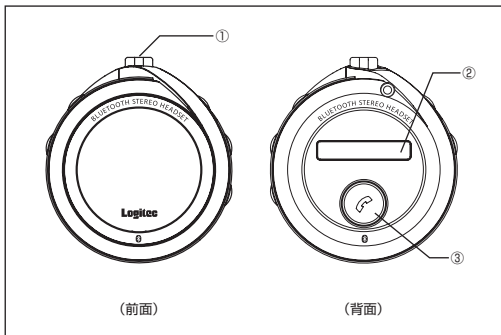
パッケージを開封し、梱包物がすべてそろっていることを確認してください。
万が一不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



本体のイヤフォンプラグ差し込み口は、2.5mmジャック用です。
3.5mmジャックタイプのイヤフォンをご使用になりたい場合は、付属の2.5mmジャック-3.5mmジャック変換ネックレスをご使用ください。

1-4 各部の名称とはたらき

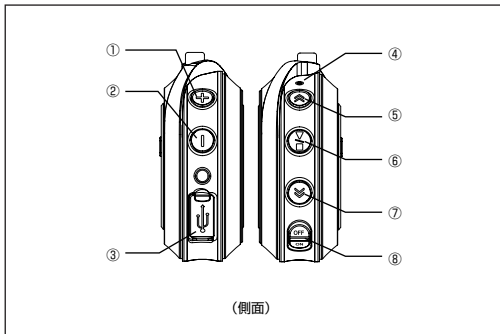
● 本体（前面、背面）



名称	主な機能
①イヤホンプラグ差し込み口	付属のネックレスのイヤホンプラグを差し込む
②LCD	<ul style="list-style-type: none">・ペアリング/接続可能/接続モード表示・バッテリー残量表示・選択プロフィール着信ID (電話番号) 表示 など
③マルチファンクションボタン	<ul style="list-style-type: none">・通話を開始/終了/拒否する・音声を切り替える・機器と接続時にハンズフリーを選択する など

1-4 各部の名称とはたらき

● 本体（側面）




















(側面)

名称	主な機能
①ボリュームアップボタン	音楽や通話の音量を大きくする
②ボリュームダウンボタン	音楽や通話の音量を小さくする
③USBコネクタ	充電時にUSBコネクタを接続する
④マイク	ハンズフリー通話、音声チャット時に使用する
⑤FWボタン	音楽を前の曲へスキップする
⑥再生/一時停止/停止ボタン	音楽を再生/一時停止/停止する
⑦FFボタン	音楽を次の曲へスキップする
⑧電源	本製品の電源を入れる/切る

1-5

操作ボタン機能の概要

再生		電話に応答する	
一時停止		応答を拒否する	 (2 秒間)
停止	 (2 秒間)	あとからかかってきた電話に出る	 (2 秒間)
1トラック先/前にスキップ	 または 	電話をかける (携帯電話)	ダイヤル+ 
早送り/ 早戻し	 または  (2 秒間)	電話をかける (リダイヤル)	 または 
音楽再生中に 電話に応答する		電話をかける (ハンズフリー通話)	 (2 秒間) +ボイスダイヤル
音楽再生中に 応答を拒否する	 (2 秒間)		
音楽再生中に 電話をかける	 (2 秒間) +電話をかける		

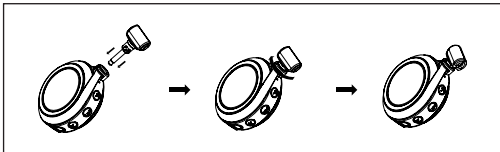


- ・ご使用の携帯電話の機種や、パソコン上でのソフトウェアの仕様により、ボタン機能の割り当てが異なる場合があります。
- ・本製品はBluetoothのAVRCD機能に対応していますが、ご使用の携帯電話の機種や、パソコン上でのソフトウェアの組み合わせなどにより、AVRCD機能が正しく機能しない場合があります。

1-6 本体とイヤフォンの着脱方法

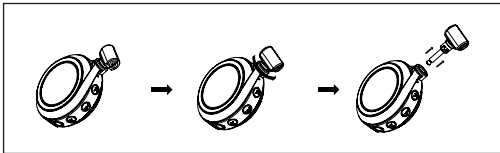
● 本体にイヤフォンを取り付ける

1. イヤフォンのプラグを本体の差し込み口に差し込みます。
2. イヤフォンのプラグを矢印の方向に回転させます。



● 本体からイヤフォンを取り外す

1. イヤフォンのプラグを矢印の方向に回転させます。
2. イヤフォンのプラグを本体の差し込み口から取り外します。



1-7 装着方法

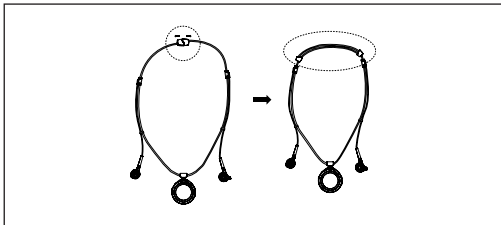
● 本製品を装着する

ネックレスを首にかけ、イヤフォンを左右の耳に装着します。



● ネックレスの長さを調節する

アジャスターを矢印の方向に動かすと、ネックレスの長さが短くなります。



1-8 充電方法

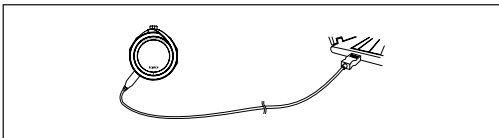
本製品をはじめて使用するときは、充電する必要があります。

● 本製品を充電する

付属のUSBケーブルを使用して、本体とパソコンを接続します。

充電が開始するとLCDが点灯します。充電が完了するとLCDが消灯します。

満充電までには、約3時間かかります。



- ・充電には、付属のUSB充電ケーブル以外は使用しないでください。
- ・本製品の電源を切ってから、充電を始めてください。
- ・3時間を超えてもLCDが消灯しない場合は、いったん充電ケーブルを取り外してください。3時間を超える充電は内蔵バッテリーの性能の低下や、故障の原因となります。

1-9 バッテリーの状態の確認方法

● バッテリーの状態とLCD表示

バッテリーの状態を確認するには、電源が入った状態で、ボリュームアップボタン（⊕）とボリュームダウンボタン（⊖）を同時に押し続けてください。LCDにバッテリーの状態が表示されます。

LCD バッテリー残量表示	充電状態
"Low Battery!"	約 5% 以下
"Battery ■□□□"	約 5% ~ 20%
"Battery ■■■□□"	約 20% ~ 50%
"Battery ■■■■□"	約 50% ~ 80%
"Battery ■■■■■"	約 80% ~ 100%

● バッテリー充電時間と使用可能時間

バッテリーの充電に必要な時間と使用可能時間は次のとおりです。

- ・ 充電に必要な時間：3時間
- ・ 使用可能時間
 - ： 待ち受け時 150時間
 - 連続通話時 12時間
 - 連続再生時 8時間

2 電源を入れる／切る

2-1 電源を入れる

1. 本体側面の電源スイッチをONにします。



2. 起動音が鳴り、本体のLCDに本製品のBluetoothデバイス番号（例：0008D600F097）が表示されます。
3. そのあと、ペアリングモード（→P.28）または接続可能モード（→P.32）になりますので、続けて操作します。

2-2 電源を切る

1. 本体側面の電源スイッチをOFFにします。



2. LCDが消灯します。

3

機器とペアリングする

本製品をBluetooth対応の携帯電話や携帯型音楽プレーヤー、パソコンやPDAなどで使用するには、はじめにそれらの機器とペアリング（機器同士を登録する作業）をおこなう必要があります。

Bluetooth機器の詳細な設定方法とペアリングの方法については、ご使用のBluetooth機器のユーザーズガイドなどをご覧ください。



注意!

ペアリングをおこなうときは、本製品とペアリングをおこなう機器との間をできるだけ近づけ、障害物がない状態にしてください。



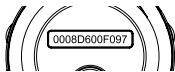
MEMO

一度ペアリングをおこない、本製品を登録済みの機器と再接続する場合は、再度ペアリングをおこなう必要はありません。

「4 機器と接続する」(→P.32)を参照して接続をおこなってください。

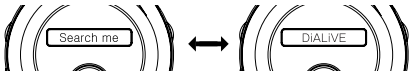
3-1 はじめて本製品を使用する場合

1. 本製品の電源 (CID) を入れます。
2. 本体のLCDに本製品のBluetoothデバイス番号 (例：0008D600F097) が表示されます。



はじめて本製品を使用した場合は、自動的にペアリングモードになります。

3. 続けて、本体のLCDに "Search me" と "DiALiVE" が交互に3分間表示されます。(ペアリングモード)



4. ペアリングする機器から、Bluetooth機器の検索をおこなってください。



検索方法や設定方法はご使用の機器によって異なります。
詳しくは機器に付属しているユーザーズガイドなどを参照してください。

3-1

はじめて本製品を使用する場合

5. 検索された機器のリストから「LBT-HS210C2」を選びます。
6. バスキーを入力する画面が表示されたら、「0000」（半角数字のゼロ4個）を入力します。



接続する機器によっては、ここで接続が完了するものもあります。

7. ペアリングが完了すると、本体のLCDに“Connect Pls”と“DiALiVe”が交互に表示されます。（接続可能モード）
8. 「4 機器と接続する」（→P.32）に進んでください。



ペアリングモードの状態、機器とペアリングせずに3分以上経過すると、本体のLCDに“Pairing Fail”と“Retry Pls!”と表示されます。

いったん、本製品の電源を切り、「3-2 別な機器とペアリングをおこなう」（→P.30）を参照してペアリングをやり直してください。

3-2

別な機器とペアリングをおこなう



本製品の電源を切った状態から操作を始めてください。

1. 本体のマルチファンクションボタン (Ⓞ) を押しながら、電源 (Ⓜ) を入れます。



2. 本体のLCDに本製品のBluetoothデバイス番号 (例：0008D600F097) が表示されます。
3. 続けて、本体のLCDに “Search me” と “DiALiVe” が交互に3分間表示されます。(ペアリングモード)
4. 以降の手順は、「3-1 はじめて本製品を使用する場合」と同じです。
「3-1 はじめて本製品を使用する場合」 (→P.29) を参照してください。

3-3

以前にペアリングした機器の情報を消去する



本製品の電源を切った状態から操作を始めてください。

1. マルチファンクションボタン (Ⓞ) と再生/一時停止/停止ボタン (Ⓢ) を同時に押しながら、電源 (Ⓜ) を入れます。



2. 本体のLCDに "Erase Info" と表示されます。


4 機器と接続する

本製品とBluetooth対応の携帯電話や携帯型音楽プレーヤー、パソコンやPDAなどのペアリングが完了したら、接続をおこないます。



一度ペアリングをおこない、本製品を登録済みの機器と再接続する場合は、再度ペアリングをおこなう必要はありません。

4-1 機器と接続する

1. 本製品の電源 () を入れ、本体のLCDに “Connect Pls” と “DiALiVE” が交互に表示されている状態（接続可能モード）になっていることを確認します。
2. 本製品と機器を接続します。
接続の操作は、接続先の機器からおこないます。
3. 接続が完了すると、接続しているプロファイルが表示されます。

4-2 機器に接続するときの注意事項

- ・ Bluetooth機器によっては、本製品と接続できない場合があります。
ご使用のBluetooth機器のユーザーズガイドなどを参照してください。
- ・ 本製品との接続方法は、Bluetooth機器によって異なります。
ご使用のBluetooth機器のユーザーズガイドなどを参照してください。

4-3 機器から切断する

1. 本製品の電源 (CID) を切ります。

または、

1. 接続しているBluetooth機器側で切断操作を行い、接続を切断します。
2. 本体のLCDに“Connect Pls”と“DiALiVe”が交互に表示されます。(接続可能モード)

携帯型音楽プレーヤーなどで音楽を聴きながら、携帯電話にかかってきた電話に応答するための設定をおこないます。

携帯電話に応答し、電話を切ったあとは、自動的に携帯型音楽プレーヤーの再生に戻ります。

1. 本製品の電源 (CID) を入れます。
2. 接続する携帯電話のユーザーズガイドなどに従って、本製品とペアリングおよび接続をおこないます。
3. 携帯電話との接続が完了したら、本製品の電源 (CID) を切ります。
4. 本体のマルチファンクションボタン (Ⓞ) を押しながら、本製品の電源 (CID) を入れます。
5. 接続する携帯型音楽プレーヤーのユーザーズガイドなどに従って、本製品とペアリングおよび接続をおこないます。
6. 携帯型音楽プレーヤーとの接続が完了したら、携帯電話との接続をおこないません。
7. 携帯電話から、本製品に接続します。
8. 音楽を聴いている最中に電話に出る方法は、「6-1 音楽を聴いている最中に電話に応答する」(→P.38)を参照してください。

5

音楽を聴く

本製品は、聴いている音楽の再生、停止、曲のスキップなどを本体の各種ボタンで操作できます。

また、サウンドエフェクトを切り替えて、お好みの設定で音楽をお楽しみいただけます。



本製品はBluetoothのAVRCP機能に対応していますが、ご使用の携帯電話の機種や、パソコン上でのソフトウェアの組み合わせなどにより、この機能が正しく機能しない場合があります。

5-1 各種ボタンの操作

●再生する

- ・音楽を停止またはポーズ中に、再生/一時停止/停止ボタン (⏮) を押します。

●ポーズする

- ・音楽を再生中に、再生/一時停止/停止ボタン (⏮) を押します。

●停止する

- ・音楽を再生中に、再生/一時停止/停止ボタン (⏮) を2秒以上押します。

●次の曲/前の曲にスキップする

- ・音楽を停止またはポーズ中に、FFボタン (⏭) またはFWボタン (⏪) を押します。

FFボタン (⏭) : 次の曲にスキップ、FWボタン (⏪) : 前の曲にスキップ

5-1 各種ボタンの操作

● 早送り／早戻しする

- ・音楽を再生中に、FFボタン (⏮) またはFWボタン (⏭) を2秒以上押します。
FFボタン (⏮) : 早送り、FWボタン (⏭) : 早戻し

● 音量を調節する

- ・音楽を再生中に、ボリュームアップボタン (⊕) またはボリュームダウンボタン (⊖) を押します。
- ・16段階の音量調節ができます。

音量	0	~	15
本体のLCD表示	"Volume0" ("Volume MIN")	~	"Volume15" ("Volume MAX")

5-2 サウンドエフェクトの切り替え

本製品は「Sonaptic 3Dポジショナルオーディオテクノロジー」を採用していますので、3段階のサウンドエフェクトの切り替えが可能です。お好みの設定を選択して音楽をお楽しみください。

- ・サウンドエフェクトを切り替えるには、音楽再生中に、ボリュームアップボタン (⊕) とFWボタン (⏭) を同時に押します。
- ・サウンドエフェクトの設定は、次の順で切り替わります。本体のLCD表示も切り替わります。お好みの設定を選択して音楽をお楽しみください。

サウンドエフェクトの設定	Wide 1 (デフォルト)	→	Wide 2	→	Off	→	Dynamic
本体のLCD表示	"Wide 1"		"Wide 2"		"Off"		"Dynamic"

6

携帯電話との使用

本製品と携帯電話を接続することによって、電話の応答や発信、本製品のマイクを通してのハンズフリー通話が可能です。

ご使用の携帯電話がBluetoothのオーディオプロファイル（A2DP）に対応している場合は、ハンズフリー通話のほかに、ワイヤレスでの音楽鑑賞もできます。

また、かかってきた電話の発信者を本体のLCDに表示されるID（電話番号）で確認できます。



注意!

かかってきた電話の発信者のID（電話番号）を本体のLCDに表示するためには、本製品と携帯電話をハンズフリープロファイルで接続している必要があります。ヘッドセットプロファイルで接続している場合は利用できません。



MEMO

周囲が騒がしいときは、本製品から10cm程度に口を近づけて通話すると、より鮮明な音声になります。



- ・この機能を利用する際は、携帯電話および携帯型音楽プレーヤーの両方と本製品を接続する必要があります。
- ・Bluetoothのオーディオプロファイル (A2DP) に対応している携帯電話の場合、1台で音楽再生と携帯電話の待ち受けを同時に行えるものもあります。

● 電話に応答する

- ・マルチファンクションボタン (Ⓞ) を押します。本体のLCDに “Talk” に続けて “Talking” と表示されます。



電話がかかってくると、自動的に音楽は一時停止となり、着信音がヘッドセットから聞こえます。本体のLCDに “Ringling” に続けて着信ID (電話番号) が表示されます。

● 応答を拒否する

- ・マルチファンクションボタン (Ⓞ) を2秒以上押します。本体のLCDに “Talk” に続けて “Rejected” と表示されます。



応答拒否は、本製品と携帯電話をハンズフリープロファイルで接続し、ご使用の携帯電話に応答拒否機能がサポートされている場合に利用できます。

6-1 音楽を聴いている最中に電話に応答する

● 電話をかける

1. 再生／一時停止／停止 (⏸) を2秒以上押すと、音楽の再生が停止します。本体のLCDに“Stop”と表示されます。
2. 電話をかけます。電話のかけかたは「6-5 電話をかける」(→P.41)を参照してください。

6-2 電話に応答する



この機能を利用する際は、本製品と携帯電話をハンズフリープロファイルで接続している必要があります。

1. 電話がかかってくると、ヘッドセットから着信音が聞こえます。本体のLCDに“Ringing”に続けて着信ID(電話番号)が表示されます。
2. マルチファンクションボタン (Ⓞ) を押します。本体のLCDに“Talking”と表示されます。
3. 通話が終了したら、マルチファンクションボタン (Ⓞ) を押して電話を切ります。

6-3 応答を拒否する



この機能を利用する際は、本製品と携帯電話をハンズフリープロファイルで接続し、ご使用の携帯電話に応答拒否機能がサポートされている場合に利用できます。

1. 電話がかかってくると、ヘッドセットから着信音が聞こえます。本体のLCDに“Ringing”に続けて着信ID（電話番号）が表示されます。
2. マルチファンクションボタン (Ⓞ) を2秒以上押します。本体のLCDに“Rejected”と表示されます。

6-4 あとからかかってきた電話に出る（キャッチフォン）



ご使用の携帯電話にキャッチフォン機能がサポートされている場合に利用できます。

1. 通話中に2本目の電話がかかってくると、ヘッドセットからピープ音が聞こえます。
2. 2本目の電話に出るには、マルチファンクションボタン (Ⓞ) を2秒以上押します。
3. 1本目の電話に戻るには、もう一度マルチファンクションボタン (Ⓞ) を2秒以上押します。

6-5 電話をかける（ダイヤルする）

● 携帯電話を使って電話をかける

1. 携帯電話を操作して、電話をかけます。
2. 通話は自動的にヘッドセットに転送されます。本体のLCDに“Talking”と表示されます。



機種によって、マルチファンクションボタンを押して通話をヘッドセットに転送する携帯電話もあります。詳しくは機器に付属しているユーザーズガイドなどを参照してください。

● 音声でダイヤルする



- ・この機能を利用するには、ご使用の携帯電話が音声ダイヤルに対応し、この機能が有効になっている必要があります。
- ・この機能を利用する際は、ご使用の携帯電話をハンズフリープロファイルで接続している必要があります。

1. マルチファンクションボタン (Ⓞ) を2秒以上押すと、ヘッドセットから短いビープ音が聞こえます。
2. 電話番号を声に出します。

6-6 電話をかける（リダイヤルする）

- 最後にかけた（かかってきた）電話番号をリダイヤルする
1. マルチファンクションボタン (Ⓞ) を押します。本体のLCDに“Talk”に続けて“Talking”と表示されます。
 2. 携帯電話にリダイヤルする電話番号が表示されます。
 3. もう一度、マルチファンクションボタン (Ⓞ) を押します。
 4. ヘッドセットから短いピーブ音のあと、ダイヤルのブッシュ音が聞こえます。



機種によって、マルチファンクションボタンを押す回数が1回でよい携帯電話もあります。

6-7 音量を調節する

- ・通話中に、ボリュームアップボタン (⊕) またはボリュームダウンボタン (⊖) を押して音量を調節します。
16段階の音量調節ができます。

音量	0	~	15
本体のLCD表示	"Volume0" ("Volume MIN")	~	"Volume15" ("Volume MAX")

7

携帯型音楽プレーヤーとの使用

ご使用の携帯型音楽プレーヤーに市販のBluetoothオーディオトランスミッターを接続して、本製品でワイヤレスに音楽をお楽しみいただけます。

オーディオトランスミッターにはAVRCP機能に対応しているものと非対応のもの2種類があります。

- ・ AVRCP機能に対応したBluetoothトランスミッターをご使用の場合、本製品で再生、停止、音量調節などの各種操作が可能です。「5 音楽を聴く」(→ P.35)を参照してください。
- ・ オーディオトランスミッター側がAVRCP機能に対応していない場合、音楽の再生時には本製品では音量調節しかできません。再生、停止などの音量調節以外の操作は携帯型音楽プレーヤー側で行ってください。



注意!

- ・ AVRCP機能非対応のオーディオトランスミッターをご使用の場合、本製品の電源を切ったあとは、携帯型音楽プレーヤー側の電源もお切りください。

本製品のヘッドセットからの音声は聞こえなくなりますが、携帯型音楽プレーヤー側は電源が入ったまま、再生が続いています。

- ・ 本製品とオーディオトランスミッターは近づけてご使用ください。距離が離れすぎたり、間に遮蔽物がある場合、音声が途切れたりノイズが入ったりすることがあります。

8

パソコンおよびPDAとの使用

パソコンやPDA本体にBluetooth通信機能が内蔵されている場合、またはBluetoothアダプタを接続して通信が可能な場合、本製品を使用してインターネットのボイスチャットやスカイプ通信、アプリケーションを使用しての音楽再生が可能です。

通信を行う際は、本製品をペアリングモードにしてからパソコンやPDA側のBluetooth用ソフトウェアで本製品を登録し、OS側からBluetoothがデフォルトのオーディオ出力デバイスとして設定されていることを確認してください。

Windows環境の場合は、

[コントロールパネル]-[サウンドとオーディオデバイス]を選択し、[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ]画面で確認できます。

[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ]画面で、既存のデバイス名に「Bluetooth AV/HS Audio」、「Bluetooth High Quality Audio」などと表示されていることを確認してください。



PDAがハンズフリー通話に対応している場合は、接続可能な状態に設定してください。詳しくは機器に付属しているユーザーズガイドなどを参照してください。

8-1

パソコンやPDAと接続するときの注意事項

- ・ Bluetooth機器と、パソコンやPDAのペアリング方法はご使用のパソコンやPDAによって異なります。詳しくは機器に付属しているユーザーズガイドなどを参照してください。
- ・ ソフトウェアがA2DPやAVRCP機能に対応していない場合、音楽の再生音を本製品では聞くことができません。
- ・ 本製品はBluetoothのAVRCP機能に対応していますが、ご使用のパソコン上でソフトウェアの組み合わせなどにより、AVRCP機能が正しく機能しない場合があります。
- ・ 本製品とパソコンやPDAを接続するときは、複数のBluetooth機器と接続しないでください。音楽や通話音が途切れて聞こえる場合があります。
- ・ 本製品とパソコンやPDAは近づけてご使用ください。距離が離れすぎている、間に遮蔽物がある場合、音声途切れたりノイズが入ったりすることがあります。

9

困ったときは

状態	チェックするには	解決するには
本製品の電源が入らない	本製品のバッテリーが充電されているかを確認します。	バッテリーを充電してください。
本製品を使用して通話ができない	ご使用の携帯電話が「ヘッドセット」プロファイルと「ハンズフリー」プロファイルに対応しているかを確認します。	本製品を通話用途で使用するには、ご使用の携帯電話が「ヘッドセット」プロファイルまたは「ハンズフリー」プロファイルに対応している必要があります。
	バッテリーが完全に充電されているかを確認します。	バッテリー残量が少ない場合は、充電してください。
本製品とBluetooth携帯電話をペアリングできない	本製品の電源が入っているかを確認します。	本製品の電源を入れてください。
	本製品がペアリングモードになっているかを確認します。	ペアリングモードにしてください。
音量が極端に小さいまたは大きい	スピーカーの音量を確認します。	ボリュームアップボタン (⊕) またはボリュームダウンボタン (⊖) を押して音量を調節してください。
オーディオファイルの音声が届かない	オーディオファイルをダウンロードしたサイトにお問い合わせください。	ファイルやサイトによってはBluetoothでのオーディオ再生をサポートしていない場合があります。

10

製品仕様

10-1 製品仕様

機種名	LBT-HS210C2
周波数特性	20Hz~20,000Hz
サンプリングレート	48KHz, 24bit
バージョン	Bluetooth V 2.0
対応プロファイル	HSP/HFP/A2DP/AVRCP
接続切り替え ^{*1}	HSPまたはHFP 1デバイス、 A2DP 1デバイス
オーディオ	SBC
周波数帯	2.402~2.480GHz
電波到達範囲	10m以内 ^{*2}
環境条件（動作時） ^{*3}	温度：-10℃~+50℃ 相対湿度：20~80%
入力電圧	5V/500mA
待ち受け時間 ^{*4}	最大150時間
通話時間 ^{*4}	最大8時間
再生時間 ^{*4}	最大12時間
外形寸法（直径×高さ）	φ38mm×15.5mm ^{*5}
重さ	17.25g ^{*6}

10-1 製品仕様

- ※1 接続する機器は、1度に2台（2プロファイル）までとしてください。
いずれの場合も接続先の機器がBluetoothのプロファイルに対応している必要があります。
- ※2 理論値、障害物なきこと。周囲の環境および接続機器により異なります。
- ※3 ただし、結露なきこと。
- ※4 接続先の機器や周囲の環境、出力レベルなどにより異なります。
- ※5 本体のみ。突起部を除く。
- ※6 バッテリーを含む。

10-2 別売品のご案内

弊社では本製品で使用できる別売品として、以下の製品を取り扱っております。
オプション品はお買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンライン
ショップロジテックダイレクトにてお求めください。

ロジテックダイレクトWebサイトアドレス：<http://www.logitech-direct.jp/>

●別売品

- ・USB Bluetoothアダプタ（パソコン用USB）

型番	内容
LBT-UA300C2	Bluetooth2.0+EDR対応USBアダプタ

11 お問い合わせについて

● お問い合わせの前に…

1. 本ユーザーズマニュアルを見て、接続の状態・注意事項をもう一度ご確認ください。

接続先の機器により、特別な注意が必要な場合があります。

2. 弊社Webサイト (<http://www.logitec.co.jp/>) では、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

※問題が解決しない場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。FAXにてお問い合わせの際は、お客様のお名前、住所、電話番号、お問い合わせいただく製品名称、シリアル番号、故障の状態（なるべく詳しく）をご記入ください。

● 弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL : 0570-022-022

FAX : 0570-033-034

受付時間：9：00～12：00、13：00～19：00 月曜日～金曜日

（祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

●修理について

- ・修理依頼品については、下記に記す弊社修理受付窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店にご相談ください。
- ・保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。
- ・保証期間終了後の修理につきましては、有料となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●修理品送付先

〒396-0192

長野県伊那市美すす六道原8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL : 0265-74-1423

FAX : 0265-74-1403

受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00 月曜日～金曜日

（祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

● 修理ご依頼時の確認事項

- ・ お送りいただく際の送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を修理依頼品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所／電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、修理依頼品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。
- ・ 弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。
- ・ お送りいただく際の送付状控えは、大切に保管願います。

● 個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録、修理依頼、製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上、アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関や行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

Logitec